

한통련 뉴스레터

発行:在日韓国民民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

韓国政府、南北軍事合意の効力停止…尹政権は即時撤回せよ！



朝鮮の軍事偵察衛星「万里鏡1号」を搭載した運搬ロケットの発射場面

北・軍事偵察衛星発射—南・軍事合意効力停止

朝鮮中央通信は11月22日、金正恩(キム・ジョンウン)国務委員長(朝鮮労働党総書記)が同日午前、国家航空宇宙技術総局の平壤総合管制所を訪問し、前日夜に発射され、軌道に投入された軍事偵察衛星「万里鏡(※「望遠鏡」を意味する)1号」の作動状況などを確認したと報じた。

金委員長は、太平洋の米領グアム上空で衛星が撮影し22日午前、受信したアンダーソン空軍基地やアプラ港など米軍の主要軍事基地の写真を見た。また「共和国の武力が万里を見下ろす『目』と万里を殴る強力な『拳』の両方を手中に収めた」として、「われわれの威力のある軍事的打撃手段の効用性を高める側面でも、自主防衛のためにも、より多くの偵察衛星を運用する必要性が提起されている」と強調した。

「目」とは軍事偵察衛星を、「拳」とは大陸間弾道ミサイル(ICBM)を意味するとみられる。

韓国政府は22日、北朝鮮(※正しくは朝鮮、以下同じ)の軍事偵察衛星発射を受け、2018年の南北軍事合意における「飛行禁止区域の設定」に関する効力を停止した。韓憲洙(ハン・ドクス)首相主宰の臨時閣議で決定し、訪英中の尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領が滞在先のロンドンで承認した。韓国は軍事境界線一帯での北朝鮮に対する偵察・監視活動などを再開することになる。

朝鮮は23日、南北軍事合意によって中止していた軍事的措置を復活させると発表。労働新聞は27日、南北軍事合意など南北合意違反の責任は韓国にあると主張し、韓米日・韓米合同訓練を改めて非難した。

韓米日3カ国外相は25日、電話会談を行い、北朝鮮による弾道ミサイル技術を使った軍事偵察衛星発射は国連安全保障理事会(国連安保理)決議の明白な違反だとして強く非難し、3カ国で緊密に連携することも改めて確認した。

国連安保理は北朝鮮の軍事偵察衛星発射を受け、27日に緊急会合を開いたが、常任理事国の中国とロシアが反対し、決議採択など全体としての具体的な対応は取れなかった。

韓国国防部は30日、南北軍事合意について、軍事作戦にさまざまな制限があるため全面的な効力停止が必要だとする立場を示した。

尹政権は軍事合意の効力停止を撤回しろ！

朝鮮の軍事偵察衛星発射を受けて、韓国政府は南北軍事合意の一部効力を停止した。しかし、軍事偵察衛星発射は南北軍事合意の違反ではなく、ましてや韓国も軍事偵察衛星を打ち上げた状況で、効力停止措置は妥当ではない。南北間でこれまで軍事合意の違反があったとしても、軍事合意以後、軍事境界線一帯での南北の軍事衝突やその危険性が減少したのは事実であり、効力停止をする理由も必要もない。

効力停止に伴い早速、南北間で相互の軍事対応が始まる中、韓国国防부는全面的な効力停止が必要だと「火に油を注ぐ」発言

「慰安婦」裁判控訴審…原告側の逆転勝訴、日本政府に賠償請求



勝訴判決を受けて開かれた李容洙さんと支援団体の記者会見

「慰安婦」裁判、日本政府に賠償請求

日本軍「慰安婦」被害者の李容洙（イ・ヨンス）さんのほか故クァク・イェナムさん、故金福童（キム・ボットン）さんらの遺族、計16人が日本政府を相手取り損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決で、ソウル高裁は11月23日、原告の訴えを却下した一審判決を取り消し、日本政府に対して原告側の請求全額（1人当たり2億ウォン＝約2300万円）の支払いと訴訟費用の負担を命じた。

高裁は「国際慣習法上、被告である日本政府に韓国裁判所の裁判権を認定することが妥当だ」と述べた上で、慰安婦を集める過程で被告の違法行為が認められることから適切な慰謝料を支払う必要があるとの判断を示した。被害者について「最低限の自由すら抑圧され、日本の軍人との性行為を強要された結果、無数の傷害を負わされた

をためらわない。

尹大統領の引き続き対北強硬発言、韓国軍にドローン部隊の創設、対北ビラ散布への事実上の黙認などを考慮すると、効力停止の下で偵察・監視だとして対北挑発をするのではないかと憂慮されると同時に、与党に形勢不利とされる来年4月の総選挙に備えて、挑発から引き起こされる軍事衝突を利用した、いわゆる「北風」の整地作業をしているのではとの疑心も湧く。

朝鮮半島の軍事緊張を高める南北軍事合意の効力停止を尹政権は即時撤回すべきだ。

り妊娠・死亡の危険まで甘んじたりするしかなく、終戦後も正常な範囲の社会生活に適應できないという損害を被った」と言及した。被告の行為は韓国の民法上の違法行為に当たるとし、各被害者への慰謝料は原告が求める2億ウォンを上回るとみるのが妥当だと述べた。

李容洙さんや被害者遺族らは2016年12月、日本政府に対し1人当たり2億ウォンの賠償を求める訴訟を起こした。2021年4月にソウル中央地裁は日本の主権免除を認め、原告の訴えを却下した。この年、同地裁は同種の訴訟に異なる判断を示していた。別の慰安婦被害者ら12人が起こした賠償請求訴訟で2021年1月、「日本の違法な行為に国家免除（主権免除）を適用できない」として日本政府に1人当たり1億ウォンの賠償を命じた。日本政府はこうした訴訟に対応しないとの原則を崩さず控訴もしなかったため、判決は確定した。

原告の李容洙さんは記者会見を開き、「これ（今回の判決）は日本にとって始まり」だと指摘したうえで、「日本は原告らに心から謝罪し、判決に従い法的賠償を行うべきだ」と述べた。

会見に同席した、「慰安婦」被害者を支援する市民団体「日本軍性奴隷制問題解決のための正義記憶連帯（正義連）」の李娜

栄（イ・ナヨン）理事長は「被害者の切迫した訴えに耳を傾け、人権の最後のとりでとして責任を果たした裁判所の判決を歓迎する。国際人権法の人権尊重の原則を確認した意味ある判決だ」と評価した。

一方、朴振（パク・ジン）外交部長官は26日、韓中日外相会談のため来韓した上川陽子外相と釜山市内で会談した。上川氏は23日に判決に対し談話を発表。今回の判決は「国際法と日韓両国間の合意に明らかに反するもので極めて遺憾であり、断じて受け入れることはできない」とした上で、韓国に対し「国家として自らの責任で、直ちに国際法違反の状態を是正するために、適切な措置を講ずること」を改めて強く求めた。この日の会談でも上川氏は朴氏に日本政府の立場を改めて伝達。これに対し朴氏は「2015年の（韓日の）慰安婦合意を両国の公式合意として尊重している」と政府のスタンスを改めて表明した。

尹政権は被害者の尊厳を踏みにじるな

【記事紹介】民主労総役員選挙、ヤン・ギョンス氏が委員長に再選…「尹錫悦政権との闘争に終止符を打とう！」



当選した「ヤン・ギョンス民主労総委員長（中央）」組

民主労総の役員選挙が行われ、ヤン・ギョンス氏が委員長に再選された。民プラスの記事（12月1日）を紹介する。

民主労総の次期役員を選出する「委員長—首席副委員長—事務総長」選挙で記号1番「ヤン・ギョンス—イ・テファン—コ・ミギョン」組が当選した。

民主労総中央選挙管理委員会が11月28

ソウル高裁は、日本軍「慰安婦」被害者が日本政府を相手取り提起した損害賠償請求訴訟で、原告に対する日本政府の損害賠償責任を認める記念すべき判決を宣告した。ソウル中央地裁が日本の主権免除を理由に被害者らの訴えを却下した一審判決を破棄し、日本政府の法的責任を認めたもの。「慰安婦」訴訟で韓国高裁が極めて正しい判断を下した。

判決に猛反発する日本政府に対し韓国政府は「2015年『韓日慰安婦合意』を両国の公式合意として尊重している」と懸命に弁明した。尹政権は韓日関係「正常化」の名の下に、日本政府に忖度し、被害者の尊厳を踏みにじる行為をやめるべきであり、日本政府は「日韓条約で解決済み」との姿勢を改め、被害者に対する心からの謝罪と判決に基づく法的賠償をすべきである。

あわせて韓国司法が正義の姿勢を引き続き示すことを望みたい。

日未明に発表した決定によれば、ヤン・ギョンス候補者は36万3246票（得票率56.61%）、記号2番のパク・ヒウン組は20万1218票（同31.36%）を得票した。

これにより、民主労総12期を率いるヤンギョンス当選者は民主労総最初の再選委員長となった。ヤン当選者は3年前、民主労総11期（直接選挙3期）委員長に当選し、民主労総で任期3年を最初に終えた委員長が再選されたのは民主労総創立28年で初めて。

ヤン当選者は当選のあいさつで、3年間の執行部の経験を土台に「民主労総の影響力を画期的に強化し、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権との闘争に終止符を打つ」と決意を明らかにした。

ヤン当選者は「尹錫悦政権との闘争に終止

符を打たなければならないとの責任感と、変化と革新の機関車とならなければならないとの抱負を大いに抱いて臨んだ選挙だった」と振り返りながら、「重い責任感を持ち労働者民衆のための闘争に乗り出す」との決意だ。

そして「民主労総の影響力を画期的に強化しなければならないとの組合員の切実な要求を実現する」と約束した。「広場における力強い闘争も、疎通と団結で変化をつくり出す組織の革新強化も、勝利の秘訣は組合員にある」とし、「組合員の力を信じ、さらに強力な民主労総をつくる」と述べた。

尹錫悦政権退陣については「いまを生きる全民衆の要求」と規定し、「民主労総が先頭に立ち全民衆の要求を必ず実現しよう。政権の没落を闘争の最終ではなく、新しい社会をつくるためのわれわれの機会へと転換させよう」と訴えた。

ヤン当選者は「圧倒しろ！ 民主労総」に続けて、△闘争の広場を圧倒しろ△未来を圧倒しろ△時代の談論を圧倒しろとのス

ローガンを掲げ、120万労組員が主人公となる民主労総、国民から拍手される民主労総をつくり、産別交渉の強化および制度化、社会公共性と民衆福祉の強化に力を注ぐと明らかにしている。

主要公約としては、2025年民主労総建設30周年を前にし、以後30年の戦略を樹立する△「新しい30年委員会」の設置△組合員が参与する「政策フェスティバル」△組合員の参与による1億ウォン予算制度△「産別労組強化委員会」の構成△メディア広報専担部署の設置および国民向け広報の強化などがある。

ヤン執行部は2024年1月1日から3年間、民主労総を率いることになる。

民主労総役員選挙の投票は11月21日から27日まで1週間行われ、総有権者100万2989人のうち64万1651人（投票率63.97%）が投票した。

原文 <http://www.minplusnews.com/news/articleView.html?idxno=14316>

활동보고 活動報告

「国会正門前アクション 沖縄も日本も戦場にさせるな！」開催…日本の軍国化に抗議



国会前で抗議する実行委員会のメンバー

「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会は11月23日、国会正門前で「国会正門前アクション 沖縄も日本も

戦場にさせるな！」を開催。約2000人が結集した。韓統連も同アクションに賛同し、当日参加した。

実行委員会の毛利孝雄氏が主催者あいさつ。「沖縄は現在、辺野古新基地建設代執行、南西諸島への自衛隊配備など、未曾有の危機に立たされている。それに反対し、本日沖縄では、玉城知事も参加して平和大集会が行われている。沖縄、日本を戦場にさせない責任は、今を生きる私たちにある。ともにがんばっていきましょう」と語った。

種子島、奄美大島、宮古島、石垣島、与那国島などで構成される「南西諸島」の代表から報告。△自衛隊配備が急速に進み、頻繁に演習が行われている△避難訓練、遺

体収容訓練など、戦争を想定した具体的な準備が始まっている△米軍飛行場、軍港などが次々と建設されつつある、など現地の生々しい実態を報告。「もう戦争はそこまで来ている」と危機感を訴えた。

連帯あいさつでは総がかり行動実行委員会、平和フォーラム、全労連、リムピース編集部などがそれぞれアピールした。

参加者全体でシュプレヒコール。「沖縄

も日本も戦場にさせるな」「辺野古新基地絶対反対」「南西諸島の要塞化をゆるさない」「ガザでの虐殺今すぐやめろ」と訴えた。

沖縄では「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」が「争うよりも愛したい。県民平和大会」を開催。約1万人が参加し、平和への思いを共有した。

汚染水海洋投棄に抗議行動…韓成祐韓青中央委員長がアピール



アピールする韓成祐委員長

「さようなら原発1000万人アクション実行委員会（実行委員会）」は11月24日、首相官邸前で「11・24放射能汚染水を止めろ！ 官邸前行動」を開催した。

実行委員会の井上年弘事務局長が主催者あいさつ。「先日福島原発の配管から水漏れが起こり、汚染水がかかった作業員が病院に搬送された。これだけ国際的な批判があるにも関わらず、このような事故を起こすということは、東電にはまったく責任感

と管理能力がないということだ。決して許してはならない」と強調し、継続した抗議活動を訴えた。

反原発団体や市民団体などがアピールする中、韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長がアピール。「韓国で11月11日に開催された『尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権 退陣総決起』に参加したが、そこで提起された『民衆10大要求案』の中に『放射能汚染水海洋投棄中止』も入っていた。韓国国内でも多くの人々が問題意識を持っている」と語り、「日本に対して抗議のひとつもしない尹錫悦政権を退陣させ、汚染水放流中止に向けて連帯していきたい」と語った。

参加者全体でシュプレヒコール。「放射能汚染水放出をやめろ」「これ以上海を汚すな」「政府・東電は約束を守れ」と訴えた。

実行委員会は12月24日に、日比谷公園で「12・24放射能汚染水を止めろ！ 東電抗議・銀座デモ」を開催予定。

韓統連兵庫本部が定期総会、セミナーを開催…宋世一委員長が講演



定期総会であいさつする崔孝行代表委員

韓統連兵庫本部は11月26日、尼崎市内で第15次定期総会を開催した。

民衆儀礼、主催者あいさつ後、宋世一（ソン・セイル）委員長が激励あいさつ。「兵庫本部は1年に三つの地域でマダンを開催し、マダンを通じて私たちの自主・民主・統一運動を地域で広げている。来年の韓国の総選挙に勝利し、尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権を退陣に追い込むための活動課題をみなさんと共有したい」と語った。



セミナーで講演する宋世一委員長

総会では活動報告と財政報告、活動方針と予算案が採択され、人事では崔孝行（チェ・ヒョヘン）代表委員、李善明（イ・ソンミョン）副代表委員が再選した。

崔代表委員が就任あいさつ。「中東でのイスラエルによる一方的な虐殺行為はもちろん、それを支持している米国を許すことはできない。また、反民主・反民生・反民族的な現政権も許すことができない。われ

われの怒りで天を突き、社会を変えていこう」と強調した。

また、同日午後から韓統連兵庫セミナーを開催。「高まる尹錫悦政権退陣闘争 デモと選挙で社会を変える韓国民衆」のテーマで宋委員長が講演した。

宋委員長は「朝鮮半島での軍事的緊張が高まっている原因は、尹政権の対米・対日屈従外交だ。また国内では民生を破綻に追い込み、政権を批判する勢力を反国家勢力として弾圧している」と指摘。今後の課題としては「進歩政党や民主労総など進歩民衆勢力が連帯・連合し一大政治勢力化を図り、保守野党をけんせいし、また巻き込みながら政治改革を促していくことが重要だ」と語った。

韓青兵庫県本部の尹鏞昊（ユン・ヨンホ）委員長代行が11月11日の退陣総決起に参加したことを報告。韓国民衆の尹政権への怒りを共有した。

韓統連広島本部がセミナーを開催…金昌五大阪副代表委員が講演



主催者あいさつする尹康彦代表委員

韓統連広島本部は11月26日、「韓統連広島セミナー2023」を広島市内で開催した。

広島本部の尹康彦（ユン・ガンオン）代表委員が主催者あいさつ。「G7広島サミットで戦争継続のためにウクライナに軍事支援を決めた。イスラエルのパレスチナ・ガザへの攻撃はジェノサイド・殺りくであり悲惨な状況が続いている。米国はイ

スラエルには自衛権があると主張し、イスラエルのガザ侵攻を容認している」と米国の姿勢を非難。「南北間の緊張が高まる中、韓国では尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣の声が高まっている」と言及し、「セミナーを通じて今後の課題を共有したい」と訴えた。

韓統連大阪本部の金昌五（キム・チャンオ）副代表委員が「尹錫悦政権と朝鮮半島情勢」をテーマに講演。「尹政権発足以降、メディアでは史上最悪と言われた韓日関係が『改善』されたと評価している。しかし実態として尹政権が提示した徴用工『解決策』は植民地支配の免罪を意味し、これを米国が歓迎したということだ。米国は韓日間の懸案問題を強引に妥結させ韓米日軍事同盟化を進め、対中国・ロシア・朝鮮包囲網を強化している」と指摘した。また来年の韓国国内については「国会議員総

選挙で進歩・民主勢力が3分の2以上を獲得すれば大統領を弾劾できる。今後尹政権退陣の動きは進んでいくだろう。米国の圧

力に屈しない政権ができれば、南北合意が履行され統一の時代は必ず来る」と力強く語り、参加者の共感を得た。

「故・太倫基弁護士の名誉回復を求める11・26市民の集い」開催…名誉回復を要求



講演する曹永鮮会長（写真左）

「在日韓国良心囚同友会（同友会）」などの主催で11月26日、大阪市内で「11・22事件48周年 故・太倫基（テ・ユンギ）弁護士の名誉回復を求める11・26市民の集い」を開催した。

同友会の李哲（イ・チョル）代表の主催者あいさつ後、「民主社会のための弁護士の集い」の曹永鮮（チョ・ヨンソン）会長

が「故・太倫基弁護士の懲戒処分の真相と名誉回復の道」をテーマに基調講演した。曹会長は講演を通じ「太弁護士は70年代、80年代の独裁政権時代に、多くの在日韓国人良心囚らの弁護を担当した勇気と使命感を持った弁護士だったが、国家安全企画部の謀略によって韓国法務部の懲戒委員会で懲戒処分（弁護士資格停止3年）を受け、不当な懲戒処分は現在も撤回されていない」と語り、「この間、家族などが中心となり懲戒処分の真相と名誉回復のための活動を行ってきた結果、今年10月、『第2次真実と和解のための過去事整理委員会』が懲戒処分の真相究明のための調査開始決定を下した。必ず懲戒処分の真相究明と名誉回復を勝ち取る」と強調した。

太弁護士の家族があいさつし、「孫裕炯（ソン・ユヒョン）さんを支援する会」の山田隆嗣さんが閉会あいさつした。

「尾澤さんの無罪を勝ち取ろう！控訴審闘争の勝利を目指す11.29集会」開催



決意表明する尾澤氏

「韓国サンケン労組を支援する会」と「尾澤裁判を支援する会・埼玉」は11月29日、都内で「さいたま地裁『罰金40万円』不当判決弾劾！尾澤さんの無罪を勝ち取ろう！控訴審闘争の勝利を目指す1

1. 29集会」を開催した。

韓国サンケン労組を支援する会の渡邊洋共同代表（全労協議長）が主催者あいさつ。「尾澤氏の逮捕は、全国的に横行している労組つぶしの一環ではないか。この裁判の行方は労働組合の今後にも関わってくる。団結して勝利を勝ち取ろう」と語った。

労働政策研究・研修機構の呉学殊（オ・ハクス）特任研究員が「グローバル経済時代の韓国日系企業の問題と労働争議～韓国ワイパー闘争を中心に」と題し報告。韓国ワイパー労組の労働争議の勝因として△チェ・ユンミ分会長のリーダーシップ△マスコミ、世論、労働行政への働きかけ△日韓連帯運動のインパクトを上げた。

弁護団からの報告後、韓国から民主労総

のキム・ウニョン慶南本部長がビデオメッセージ。「尾澤さんの裁判はサンケン労組の闘いの一部だ。わたしたちの闘いは裁判に勝利して初めて終わることとなる。サンケン労組の同志は最後までともに闘う」と語った。

各団体からの連帯あいさつ後、尾澤氏が決意表明。「一審判決は、事件が韓国サンケンの労働争議の過程で起こったものであ

るという事実を全く無視しており、労働者の連帯を全く認めないという思想が背景にあるのではないかと。到底容認できない。これまでの闘いをさらに発展させていきながら、無罪判決を勝ち取っていききたい」と語った。

全労協の関口広行事務局長が閉会あいさつし、鳥井一平共同代表（移住連理事長）が団結ガンバローを唱和した。

「韓国良心囚を支援する会全国会議」が集約集会を開催…良心囚の再審無罪を要求



主催者あいさつする渡辺代表

「韓国良心囚を支援する会全国会議（全国会議）」は11月30日、都内で「2023年全国運動集約集会」を開催した。

渡辺一夫代表が主催者あいさつ。「本日は講師や参加者から在日韓国人良心囚の再審状況が報告される。この場で共有し、今後の運動を考えていこう」と語った。

立教大学の李玲京（リ・リョンギョン）兼任講師が、この間再審が決定した崔昌一（チェ・チャンイル）氏、陳斗鉉氏（チンドゥヒョン）氏の状況を報告。再審裁判について「再審の闘いとは、本人はもちろん家族や、周辺の人たちの傷を癒やすための過程でもある」としながら、「検察はこの期に及んで陳斗鉉氏をスパイだと決めつけ、権力による捏造を認めようとしなさい。尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権となって政府の要職に検察出身者がつくことが多くなり、よりいっそう検察の横暴が目立つようになった」と尹政権と検察を批判した。



講演する李玲京兼任講師

今後の課題としては△国家保安法の撤廃△韓国国内における反共意識の払拭をあげた。

元良心囚の鄭勝淵（チョン・スンヨン）氏と金元重（キム・ウォンジュン）氏、尾澤孝司氏が連帯あいさつ。韓国社会の状況や故太倫基弁護士集会（※記事前掲）と裁判闘争が報告された。

石井寛事務局長が閉会あいさつ。「今年に入って韓国にも行けるようになってきた。再審裁判にも今後参加できるかと期待している。遺族の方ともよく話し合って、一人でも多くの再審無罪を勝ち取っていききたい」と語った。

全国会議では全国運動の一環として、毎月1回JR日暮里駅前や京成上野前で街頭宣伝を行っており、李俊一（イ・チュニル）事務長が参加している。

第22代 韓国国会議員総選挙 在外投票案内



2024年4月10日に実施される第22代韓国国会議員総選挙に、在日同胞も投票できます。初めて投票する方は事前に選挙人登録が必要ですので、期限内に各地の韓国領事館で登録してください。

在外選挙人登録申請期間 2024年2月10日まで
投票期間 2024年3月27日～4月1日まで

手続きの詳細は在外選挙 中央選挙管理委員会ホームページでご確認ください
<https://www.nec.go.kr/site/abroadja/main.do#>

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の動画を韓統連ユーチューブチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連ユーチューブチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMlgrXfqiQ



韓統連ホームページ

행사예정 行事予定

12月

第18回韓統連愛知セミナー(愛知)

日時: 12月10日(日) 午後1時30分開始 場所: 愛知民主会館 内容: 「今こそ進めよう、朝鮮半島平和の道標を」(講師—康宗憲(カン・ジョンホン) 韓国問題研究所代表) 参加費: 1000円(学生: 500円) 主催: 韓統連愛知本部 連絡先: 090-3930-8815 (キム)

情勢学習会(神奈川)

日時: 12月17日(日) 午後1時開場、1時15分開始 場所: 東海道かわさき宿交流館 内容: 情勢講演(講師—宋世一(ソン・セイル) 委員長) 主催: 韓統連神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261 (ムン)

編集後記

尹錫悦政権によって、南北軍事合意が一方向的に効力停止されました。合意が発表された当時は、わたしたちの祖国から戦争の脅威をなくしていく南北首脳の決意を感じ、感動したものです。平和を踏みにじる尹政権に対して、さらなる怒りが湧きました(李)



いつでも
どこでも
水洗トイレ!

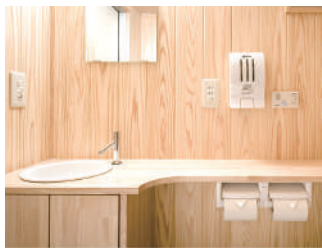
自律式移動型水洗トイレ サラオ

国交省認定『快適トイレ』

広々、キレイ、置くだけ。ソーラーパネル付きなら電力も不要。

太陽光設備と蓄電池設備を備えた自律式移動型水洗トイレです。電気や上下水道の設備が整っていない環境でも設置できます。最新式の便器を使用し、温水洗浄暖房便座を完備しています。家庭用トイレと変わらない外観・内装なので、安心して清潔な水洗トイレを利用することができます。

汚水タンクには脱臭効果のある土壌被覆がされており、臭いがしません。外部コンセントが付いているため携帯電話の充電や電化製品等が使用できます。工事現場だけでなく災害などの緊急時にも対応可能です。移動式クレーン車で運搬ができ、設置撤去が簡単です。



快適トイレ
適合商品 NETIS 国土交通省新技術情報システム登録商品
CB-160028-VR

広さ約2倍以上。着替えもできます!

広さは一般的な仮設トイレの約二倍。着替えもしやすく、お子様と一緒に入れるなど、女性に優しい空間です。



快適トイレ
適合商品 NETIS 国土交通省新技術情報システム登録商品
CB-160028-VR

女性に嬉しい、水洗トイレの清潔感!

簡易水洗ではなく、家庭と同じ水洗トイレだから清潔に保たれます。衛生面でも安心です。



快適トイレ
適合商品 NETIS 国土交通省新技術情報システム登録商品
CB-160028-VR

使いたい場所に、使いたい期間だけ。

リフトやトラックで運搬できるため、設置場所を選びません。必要な場所にお届けします。

設置事例



【大型駐車場 SII型】



【災害避難所 駐車場/SII型】

熊本地震の際に、災害ボランティアセンターでご利用していただきました。地震では上水管と下水管が甚大な被害を受けます。災害ボランティアセンターに設置し多くの方にご利用いただきました。鏡もあり、着替えもでき、当たり前の水洗トイレがうれしいという声を頂きました。



【ラグーナビーチ SII型】

屋外結婚式に使用しました。



【駅前工事現場 SII型】

駅の再開発工事でサラオ SII型を採用していただきました。多くの方が働く現場ですので、タンクに給水が不安の上水を直結。下水は仮設の下水を引いていただき、それに直結しました。女性の警備員さんに大変喜んで頂いたのがうれしい思い出です。



【キャンプ場 WI型】

大自然に囲まれキャンプをする中でも、仮設トイレ特有の不快感や違和感はありません。快適に過ごせることをお約束します!

安全とエネルギーと環境を創造する

Gテクノ株式会社

<https://www.g-techno.jp/>

お問合せの際は
下記フリーダイヤルまでご連絡下さい。

サラオ イイナ



0120-360-117